

アートラボはしもと後継施設 〔(仮称)美術館(橋本)〕整備事業について

平成30年9月11日

相模原市 市民局 文化振興課

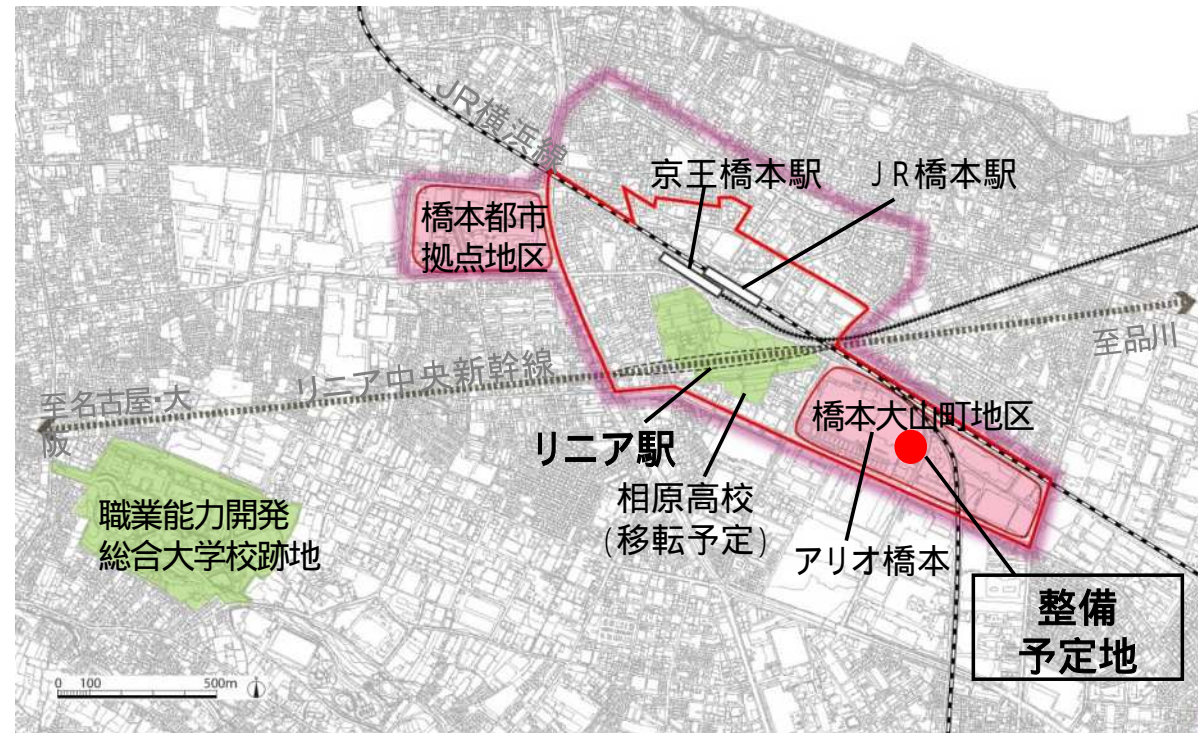
042-769-8202

bunkashinkou@city.sagamihara.kanagawa.jp

アートラボはしもと後継施設〔(仮称)美術館(橋本)〕整備事業

アートラボはしもとの概要

- ・所在地 相模原市緑区大山町1番43号
- ・敷地面積 2,679.82㎡
- ・建物面積 1,772.64㎡
 - 1階: 961.92㎡
 - 2階: 810.72㎡
- ・JR橋本駅から徒歩12分
- ・リニア駅予定地から連なる大型商業店舗に隣接

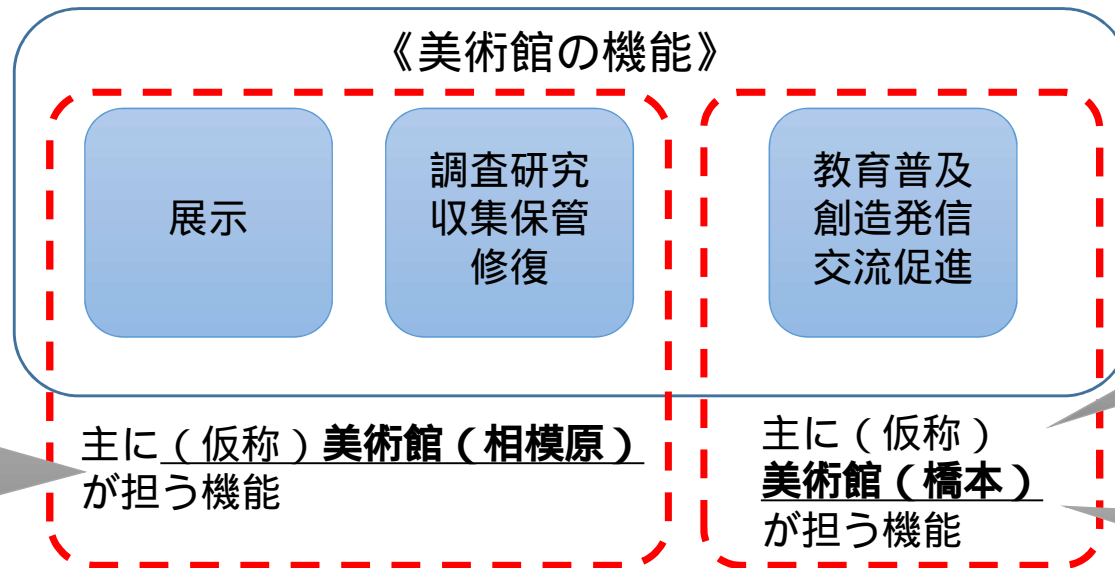


- ・寄贈を受けた旧マンション販売センターの土地、建物をそのまま活用し、平成24年に市が開設した美術教育のための施設
- ・女子美術大学など周辺美術系大学との連携等により、年間に約25の市民向けのアートプログラムを提供し、約1万6千人が利用
- ・寄贈を受けた建物をそのまま利用しているため、設備などが老朽化、民間から受領した資金(1億5,000万円)を再整備に向け基金に積立

(仮称)美術館(橋本)整備事業

相模原市美術館基本構想 (H28.5策定)

- 「(仮称)美術館(相模原)」 文化芸術の総合拠点
 - 「(仮称)美術館(橋本)」 文化創造・発信や教育普及等を行う
- それぞれ整備し一体的な運用



米軍基地返還地に
新たなまちづくりの
中核施設のひとつ
として整備

「アートラボはしもと」の機
能を拡充し再整備

具体的な機能分担は
平成30年度中に検討予定

分館構想の背景

- ・アートラボはしもとで培った地域住民や地元商店街とのネットワークを活かした施設配置
- ・美術系大学が近隣に複数立地し、美大生が多く住み、行きかい、活動する橋本地区の立地特性
- ・(仮称)美術館(橋本)の建設予定地は、旧日本金属工業株式会社 1から美術館用地として寄附を受けたもの
1 日新製鋼(株)が権利義務を継承

(仮称)美術館(橋本)の整備について

- ・アートラボはしもとの機能を継承し、現在地に再整備 必要床面積1,200平米程度を想定
- ・展示機能の付加など拡充する内容は30年度中に検討予定
- ・部屋割り・内装等施設内の詳細についても30年度中に検討予定
- ・本市のPPP/PFI手法導入優先的検討方針(H29.2策定)に基づき民間活力の導入を前提に検討

民間活力の導入について

サウンディング調査

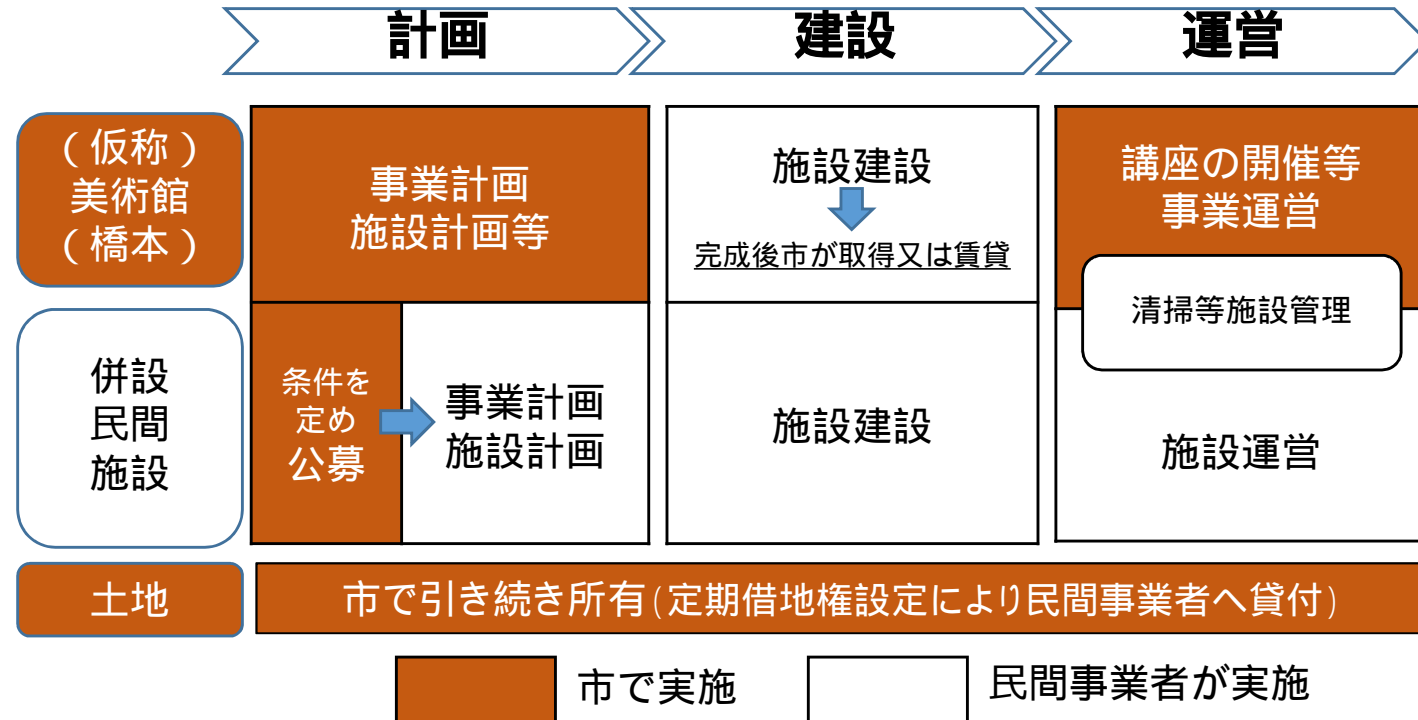
(H29.9月実施)

調査上の仮条件	用途	現行施設と同等
	設置方法	・単独館、併設施設 いずれも可 ・施設(床)の所有 形態は不問
	施設面積	1,200㎡程度
	運営形態	・施設管理方法の 形態は指定なし ・事業運営は直営を 想定
	併設施設	文化芸術関連が 望ましい
	敷地	所有権移転は不可
	その他	市負担額5億円以内
結果 (参画意向)	・3社が参画意向 ・施設建設について 具体的な提案 ・PFI等運営に係る 提案はなし	



民間活力の導入可能

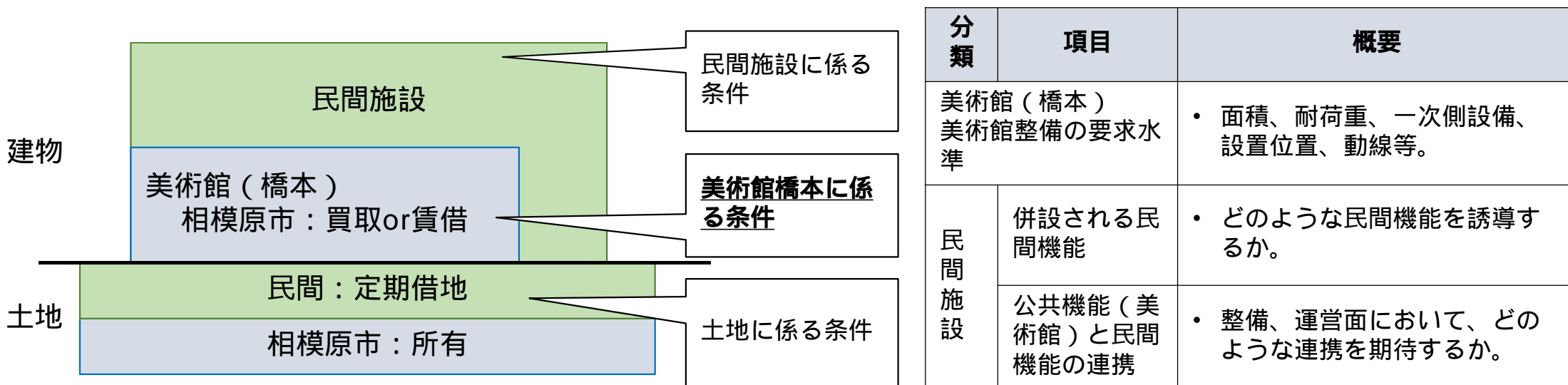
民間活力導入による事業スキーム



(仮称)美術館(橋本)部分の事業計画、施設計画は市が策定
 民間施設の併設を前提に公募に応じた民間事業者が施設を建設
 施設建設後、美術館部分は市が取得又は賃貸
 ワークショップや講座等の事業は市が実施し、清掃等施設管理は民間事業者が実施

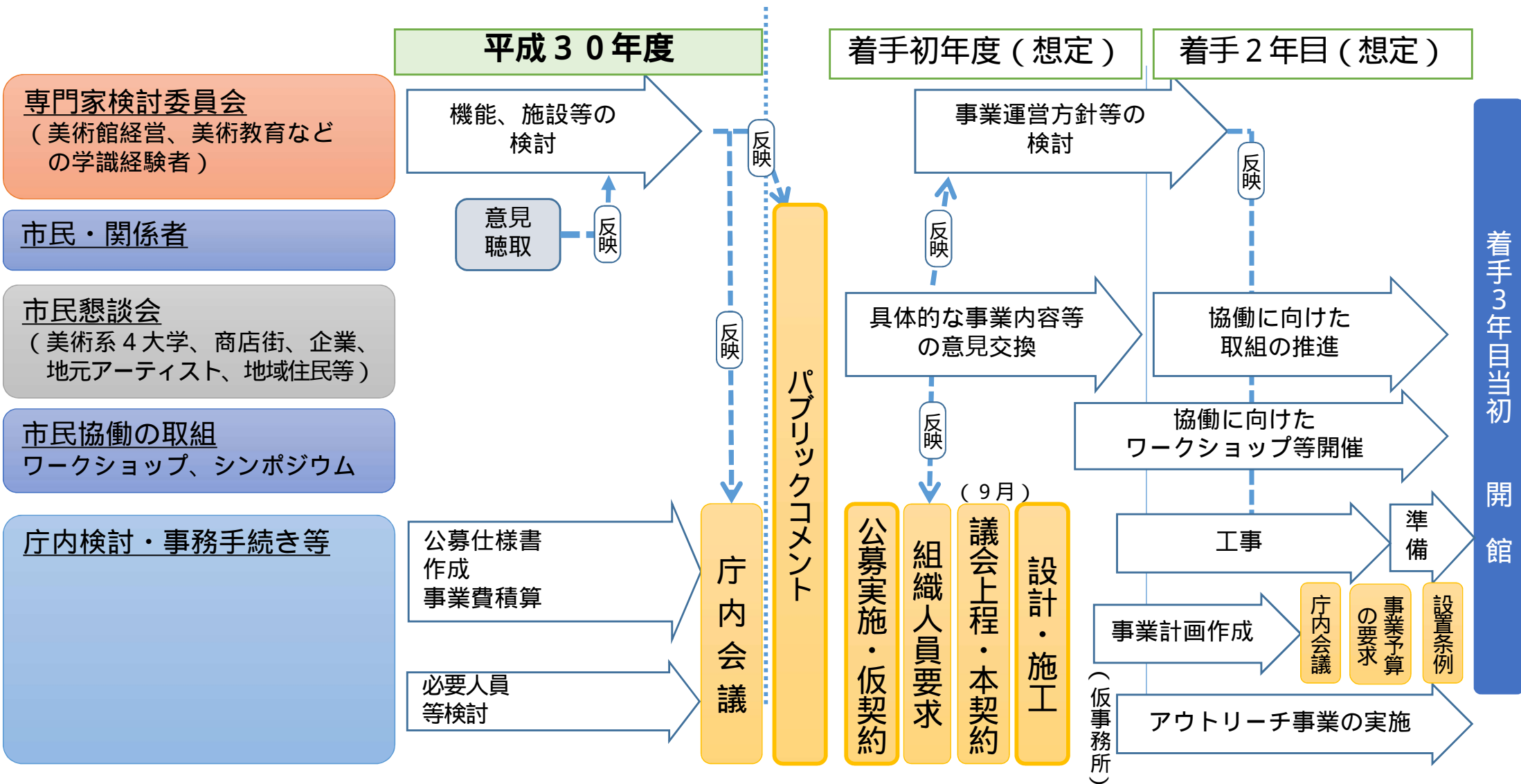
民間事業者公募・選定に係る条件設定について

- 本事業では、対象地を民間事業者に貸し付けたうえで、当該民間事業者が美術館（橋本）を含む複合施設を整備。市は美術館（橋本）部分を買取または賃借（官民合築方式）。
- 来年度以降に事業者の募集・選定を実施することを想定。
- 公募・選定においては、借地料や借地期間以外に、美術館（橋本）に関する施設要件や、複合する民間施設に関する条件を設定。



これらを公募条件として取りまとめて、民間事業者を公募・選定する。

橋本地区における美術館整備想定スケジュール



整備スケジュールは、平成30年度に詳細を検討する。